

学習用具のきまり

新3・4・5・6年生

- ◆ 学校は、勉強をするところです。
- ◆ 授業で困らないように、学習用具をきちんとそろえましょう。
- ◆ 学習に必要なものだけを持ってきましょう。
- ◆ 筆箱の中は、下に書いてあるもの以外、入れないようにしましょう。
- ◆ 持ち物には、必ず名前を書きましょう。

筆箱の中

★ そろったら、○をつけましょう。

<p>けずった鉛筆 (B以上) 4～6本</p>	<p>こい字は、パツとうき出て見え頭の中に、入りやすいんだよ。</p>
<p>けずった赤鉛筆 1本</p> <p>(6年生は、赤一色のボールペンでもよい。ただし、かざりのないもの)</p>	<p>こい鉛筆は、しんがやわらかく、たくさん字を書いてもつかれにくいよ</p>
<p>定規 (筆箱に入る長さ)</p> <p>・めもりがはっきりと見えやすいものを使う。</p>	<p>計算する時に きちんと定規を使って書くと、計算ミスもへるよ</p>
<p>よく消える白い消しゴム</p> <p>(色・におい・かざりのないもの)</p>	<p>らくに消えると、またすぐに字が書けるね</p>
<p>ネームペン (油性) 1本</p>	

シャープペンシルは、使いません。学校には持ってきません。シャープペンシルのしんは、細いので文字がうすく読みにくいからです。小学校での学習には、てきしていません。

☆授業に集中しやすくするためには、できるだけシンプルな学習用具を選ぶことが重要です。

子どもたちは、キラキラしたり、ゆらゆらしたり、においがついていたりと変わったものを持ちたがりますが、

学習のさまたげになるものを取り除いてやることで、しっかり話が聞けるようになります。

◆筆箱・・・シンプルで、中のものがそろっているか、分かり易く、取り出しやすいものにしましょう。(缶のペンケースはあまりおすすめできません)



立てるペンケースは、倒れたり突きささったり危ないのでおすすめできません。

おりたためる定規は、こわれやすい、音がでる、手遊びをしてしまうなどの理由で、あまりおすすめできません。

☆必要な物が、わかりやすく、取り出しやすいように整理しましょう。それ以外の物は、先生の指示のあった時だけ、入れるようにしましょう。

◆お道具箱



三角定規や分度器は、使用する時期になると学級で使いやすい物を選んで一括購入しますので、購入後は、お道具箱の中に入れておきましょう。

スティックのりは、ノート等に貼る時に、フエキのりは、図工の時に使用します。

コンパスは、先がとがっていて危ないので、必要のない日は、学校においておかないようにしましょう。

3年生 (はさみ・のり・色えんぴつ・三角定規・コンパス)

4～6年生 (はさみ・のり・色えんぴつ・三角定規・コンパス・分度器)